

精華町教育委員会会議録

平成24年（第5回）

- 1 開 会 平成24年5月23日(水) 午前10時00分
閉 会 平成24年5月23日(水) 午前11時30分
- 2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 弓矢委員 大竹委員
太田教育長 (欠席委員なし)
- 3 出席事務局職員
木原教育部長 竹島学校教育課長
村川生涯学習課長 永井総括指導主事
土井学校教育課主幹

4 議事の概要

(1) 開会

委員長から第5回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成24年第3回教育委員会、第4回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

- ・特になし。

【採 決】

- ・全員承認。

(3) 教育長報告事項

ア 教育委員会の現状に関する調査の結果の概要について

去る5月17日に東京で行われた全国町村教育長会総会、研究大会で結果を入手したが、今後の本町教育委員会の活動に参考になると思われるので報告したい。

この調査は、平成22年度間の調査で全都道府県、指定都市、市町村教育委員会を対象に行われた。精華町と同規模は248教育委員会。

教育委員の選任状況では、保護者を選任している割合は都道府県、指定都市は100%、市町村では95.6%。公募により選任された教育委員が在任している教育委員会は28団体。公募により選任された教育長が在任している教育委員会は7団体。

教育委員会会議の開催状況は、都道府県、指定都市は28.4回で1カ月に2回程度の開催、市町村は15.4回、精華町は13回の開催となっている。傍聴者は、都道府県、指定都市は57.8人、市町村は3.9人。議事録の公開は、市町村はあまり進んでおらず45.5%で半数以上が公開していない。詳細な議事録の公開は24.7%で4分の1になる。

教育委員会会議の運営上の工夫では、土日・祝日や夕方以降の開催、大きな会場や移動教育委員会の開催など傍聴者が多く来てもらえるよう工夫がされている。教育委員会会議の前に勉強会をしているところ、議案承認だけではなく、委員から提案を出して話し合う、事前資料を配付、ホームページへの掲載など参考にしているところがある。

教育委員による学校訪問の状況は、精華町では10回実施、全国平均である。学校以外の施設訪問は、精華町ではできていない。

教育委員の研修状況は、精華町で5回実施、平均レベルである。

広報活動の状況を見ると、精華町は「華創」中心の広報になっているので、ホームページや新聞などの活用が必要と考える。

保護者や住民からの意見の聴取も、今後の課題である。

スポーツ・文化に関する事務を教育委員会から首長部局へ移管するうごきがあり、都道府県、指定都市で25.8%、市町村で3.3%。文化に関する事務については、市町村は3.4%と少ないが、このような動きも一部には見られる。

教育委員会の活動状況の点検・評価は、法的に定められているが、市町村レベルでは100%になっていない。精華町では議会総務教育委員会で報告している。

首長との連携は、都道府県、指定都市でも開催が半分に達していない。市町村では3分の1、精華町は年1回行っている。

学校の裁量拡大の取組みは、教育課程や補助教材などについて、許可、承認をしていないところも出てきている。精華町では、教育課程については承認事項、補助教材は事前の報告に留めている。修学旅行、

休業日の変更は、承認事項として取り扱っている。学期の設定は、教育委員会規則で規定している。施設の目的外使用についても、承認事項としている。

指導主事の配置では、市町村、特に規模が小さな市町村での配置ができていない。精華町は、嘱託指導主事3名、充て指導主事1名で報告している。

【委員の意見等】

- ・特にユニークな取り組みと感じたものは何か。（伊藤委員長）

【事務局】

- ・実践報告の中から、岡山県矢掛町がふるさと納税の教育版を作っている。納税されたお金を教育のために使うというもの。（教育長）

(4) 議決事項

- ア 第15号議案、平成24年6月精華町議会定例会提出議案に係る意見聴取について

【提案説明】（教育部長）

平成24年6月精華町議会定例会提出議案について、精華町長より地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、精華町教育委員会の意見を聴取されているため、提案。

【提案概要】

平成23年度補正予算（第7号）は専決補正で、不用額等の減額補正。

歳入は、使用料、国庫補助事業、教育費の雑入等で合計10,228千円の減額。

これは小・中学校への空調設備並びに暑さ対策工事の設計委託費の入札残により、学校建設基金から繰り入れを予定していた分で、4,281千円。教育費の雑入で7,478千円の減額、主なものは埋蔵文化財の発掘調査費用が8,000千円の減額となっており、23年度で発掘調査依頼が来た場合に即時に対応できるように予算計上していたが、調査

依頼がなかったため、全額を減額とその他の事業で一部増額した。

歳出は、各事業等で節約や事業の入札等による執行残等で総額47,369千円の減額。

主なものとして、小学校建設費で実施設計3,000千円の減額、中学校建設費1,146千円が入札残により減額、文化財費で歳入でも説明した発掘調査依頼がなかったことによる8,000千円の減額を含めて11,671千円の減額となる。

なお、23年度で小・中学校への特別支援教室への空調設備設置工事及びドライミストの暑さ対策工事については補正したが、平成24年度に50,000千円を繰越した。先般業者が決定し、6月末までの工事の予定で進めているが、6月20日前後には試運転し、稼働させたい。

【委員の意見】

- ・電気の節約や節電の見通しは。（伊藤委員長）

【事務局】

- ・ドライミストは、電気を使うのはポンプだけなので電気をあまり使用しない。（教育部長）

【採決】

全員挙手により原案どおり決定

ア 第16号議案、平成24年6月精華町議会定例会提出議案に係る意見聴取について

【提案説明】（教育部長）

平成24年6月精華町議会定例会提出議案について、精華町長より地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、精華町教育委員会の意見を聴取されているため、提案。

【提案概要】

平成24年度補正予算（第1号）の内容は、当初、京都府の緊急雇用対策事業が平成23年度で終わる予定であったが、新たに24年度も緊急雇用対策事業として予算がついたことによる補正。当初予算で学校図

書館司書配置事業、学校情報教育等のサポート事業経費を確保し、学校図書館司書は4名、学校情報教育サポート事業は2名を配置して事業等サポートに当たっているが、昨年並みの予算を確保できなかったため、配置時間を23年度に比べ減少せざるを得なかった。今回この対策事業を利用し、9月以降になるが、配置時間を23年度並みの7時間等に戻す予定である。

また、当初は町単独の予算であったが、この対策事業を使うことにより財源更生し一部を減額、その総額が6,107千円となる。

土曜日を活用した教育のあり方実践研究事業で、京都府から委託金として50千円の措置があり、今回補正予定。

【委員の意見】

- ・司書が前年度並みで配置されるのはありがたい。（伊藤委員長）

【採決】

全員挙手により原案どおり決定

（5）教育部からの報告

ア 教育部長

① 平成24年第2回定例議会について

- ・議会日程は、29日の議運で正式に決定。予定では、24日議案発送、25日一般質問締切、29日議運、6月5日開会、6月6,7,8日一般質問を予定、11日議案質疑、12日以降が予算決算常任委員会を含め、総務教育常任委員会等各常任委員会の予定。
- ・案件は、17議案で、教育委員会関係は補正予算、専決補正予算。
- ・開会中の総務教育常任委員会で食のアンケートの集計結果を報告予定。

② 第5次精華町総合計画の動きについて

今年度中に策定する方針で進めているが、現在、議会においても総合計画特別委員会が設置され、その中に3つの小委員会ができた。

小委員会は、総務教育、民生環境、建設産業の3つに分割、各所管部長も出席、進捗状況、総括等の質疑に対応予定。

③ 亀岡の事故を受けて通学路の緊急安全確認について

文部科学省からの調査に基づき通学路の安全確認表を作成。各小・中学校から危険箇所、所管道路、危険理由、学校内外での取り組み等、いろいろな項目の調査があり、全小・中学校合わせて45カ所の危険地域が報告された。国道は1カ所、山田荘地域で163号線。府道で23カ所、木津八幡線、山手幹線、山城枚方線。町道は21カ所。

主な危険理由は、「交通量が多い、信号機がない、横断歩道がない、道路が狭い、歩道が狭い、抜け道である」などである。一つの箇所で「交通量が多い、道路が狭い」という2つの理由がある場合もある。各小・中学校では、交通安全対策として交通安全教室の実施やPTA、スクールヘルパーの協力による誘導、看板等による周知・啓発等を行っている。

また、抜本的な改善のために、道路標識や信号機の設置、横断歩道の設置、ガードレールの設置などの要望が学校から出されている。

今後は、関係課、特に総務課、危機管理室、建設課、学校教育課、木津警察署、山城南土木事務所など府の関係機関等と5月25日に協議予定。危険箇所の共通認識を図り、対策、改善できるものを検討していくことになる。

イ 学校教育課長

① 学校給食使用食材の産地公表について

昨年の福島第一原発の事故以降、保護者の方から小学校の給食食材について、大丈夫かという問い合わせ等がある。市場に流通している食材は基本的に安全であるが、そういう保護者の声もあるため、24年4月分から主な使用食材の産地をホームページに公表することにした。

公表は、使用月の翌月の中旬から下旬をめどに前月分の使用食材の一覧をホームページに掲載。4月分は既にホームページに掲載済みである。

② 空調設備・ドライミストの設置について

暑さ対策として、特別支援教室への空調設備の設置、普通教室へのドライミストの設置を行うため、5月10日に契約、現在工事に向

けての準備を進めている。6月中下旬を目途に工事の完了を目指している。夏の電力需要の関係で節電の動向があるが、今夏以降の暑さ対策として、今年から間に合わせるよう各工事を順次進めていく。

いずれも町内業者が落札した。

③ 川西小学校のプール改修工事について

川西小学校のプール改修工事を夏までに実施予定。主な工事は、塗装がはげて水が白濁するための改善工事で、6月中旬を目途に実施。町内業者が落札した。

④ 精華中学校の改築について

平成24年度、25年度で基本設計、実施設計を行うため、6月7日に入札を予定。契約ができ次第設計に取り掛かる。

平成24年度に、基本設計を予定しており、建設検討委員会を立ち上げ、その中でいろいろな意見を聞き基本設計に反映したいと考えている。

ウ 総括指導主事

① 東光小学校で行われた土曜日活用の事業について

5月19日実施。5月20日に京都新聞朝刊に記事が掲載。

その1週間の欠席人数の報告から、事故欠が14人、普段と比べ多くなっている印象がある。

京都府山城教育局のホームページにもアップされた。

② 生徒指導の充実について

平成23年度の状況がまとめ、平成22年度と比較しながら説明。問題行動について山城地方では、小学校の件数は多くなっている。総件数、指導人数、生徒間暴力が増えてきている。中学校は、総件数、指導人数、対教師暴力、その他減少傾向を示している。

いじめについては、山城地方の状況は小学校、中学校とも、少し増加傾向である。

精華町では、小学校は総件数、人数、生徒間暴力、それぞれ減少。中学校は、件数、人数、対教師暴力、器物損壊等も減ってきている。

いじめについては、小学校は同数、中学校は減少傾向である。

不登校については、山城地方の状況は、小学校は人数が増加、中学校は減少している。精華町では、小学校は昨年度と同数、中学校は減少している。

このことを踏まえ、本年度の指導課題として、校長会、教頭会で6項目指示した。

1 点目が生徒指導の3機能を生かした教育活動の展開と積極的な生徒指導の推進。

2 点目が教育相談体制の充実などいじめ、暴力、不登校の未然防止、早期対応に向けた取り組みの推進。

3 点目が組織的・計画的に対応できる学校の指導体制、効果的な指導・対応の方法の確立。

4 点目が関係機関との連携、スクールサポーターを活用した非行防止教室等を通じての児童生徒の規範意識の醸成。

5 点目が校種間連携の充実。

6 点目が虐待の実態把握と関係機関との連携、学校の役割の明確化。

③ 公立中学校の卒業生徒の進路状況について

5月1日調査で、公立中学校の卒業生徒の進路状況が確定。

平成23年と比べ卒業生総数は20人増加。通信制を含む進学率、全体の進学率が23年98.7%であったが、24年98.5%で0.2%の減少。通信制を除く進学率は0.9%の増加。全日制私立高校の進学率は1.8%の増加。国公立の全日制的進学率は0.4%の増加。就職者は、1人でプラス・マイナス0人。

総括すると、通信制を含む進学率が微減、通信制を除く進学率の微増、全日制私立高校への進学率の増加、国公立全日制高校への進学率微増となり、全体的に全日制的の高校等への進学率が増加したことがうかがえる。また、府内の高校等への進学率が少し上がっていることもうかがえる。

エ 生涯学習課長

① 精華町拡大あいさつ運動について

今年度も地域社会において交わされるあいさつをきっかけとし

た心温まる人間関係を広げていきたいという思いから、精華町PTA連絡協議会が小・中学校での一斉の取り組みとして取り組んでおられます統一あいさつ運動と連動して、その呼びかけ範囲を行政や町内の関係団体まで拡大した精華町拡大あいさつ運動を例年どおり年間3回、3期にわたって実施。

6月期は平成24年6月19日火曜日から21日木曜日、9月期は9月3日から9月5日、1月期は1月8日から10日で、それぞれ3日間の計画。場所は、資料の裏側に各学校での取り組み場所と時間を記載、各学校での取り組みに加え、各地区では小・中学校でのあいさつ運動実施場所や自分たちの生活空間で実施、行政においては祝園駅と役場庁舎、各職場で実施予定。

【委員の意見】

- ・あいさつ運動、教育委員の指定されている場所はあるのか。（伊藤委員長）

【事務局】

- ・指定場所はないので自由に参加いただきたい。（生涯学習課長）

(6) その他

- ① 4月から5月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数10件で、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が10件、うち社会教育係関係が9件、図書係は0件、体育係関係は1件。

(7) 教育部からの諸報告

- ア 6月の行事予定について。

(8) 閉会

- 委員長が第5回教育委員会の閉会を宣言。